

# 1. 施工パッケージ型積算方式の概要と特徴

## (1) 施工パッケージ型積算方式の適用時期と範囲

### 【適用開始】

◆平成26年10月1日以降に起工する工事により試行を開始。

### 【適用範囲】

- ◆9工事区分(舗装、道路改良、築堤・護岸、道路維持・修繕、河川維持・修繕、砂防堰堤、電線協同溝)の主要工種に209施工パッケージを適用。
- ◆施工パッケージを導入した工種は、積算基準書から歩掛が削除され、工事区分にかかわらず全ての土木工事において施工パッケージによる積算を行う。

# 1. 施工パッケージ型積算方式の概要

## (2) 施工パッケージへ移行する歩掛

分類	NO	歩掛名称	備考
総則	1	現場発生品及び支給品運搬	○
土工	2	土の敷均し、締固め	○
	3	土の敷均し(ルーズ)	○
	4	機械土工(土砂)	○
	5	機械土工(岩石)	○
	6	小規模土工	○
	7	人力土工(土砂)	△
	8	人力土工(岩石工)	○
	9	安定処理工	○
	10	安定処理工(バックホウ混合)	○
	共通工	11	法面整形工
12		芝付工	○
13		吹付法面とりこわし工	○
14		人工張芝工	○
15		コンクリートブロック積(張)工	△
16		場所打擁壁工(1)	○
17		プレキャスト擁壁工	○
18		サンドマット工	○
19		粉体噴射攪拌工(DJM工法)	○
20		スラリー攪拌工	○
21		高圧噴射攪拌工	○
22		構造物とりこわし工	○
23		吸出し防止材設置工	○
24		旧橋撤去工	○
25		かご工	○
26		函渠工(1)	○
27		函渠工(2)	○
基礎工	28	場所打杭工(オールケーシング工・全回転式オールケーシング工)	○
河川海岸	29	消波根固めブロック工	○
	30	消波根固めブロック工(ブロック撤去工)(0.25tを超え35.5t以下)	○
	31	浚渫工(バックホウ浚渫船)	○

分類	NO	歩掛名称	備考	
河川維持工	32	機械土工(超ロングアーム/バックホウ土工)	○	
	33	巨石積(張)工	○	
	34	かごマット工	○	
	35	袋詰玉石工	○	
	36	光ケーブル配管工	○	
砂防工	37	土工	○	
	38	砂防土砂仮締切・砂防土・砂土のう仮締切	○	
	39	砂防コンクリート締切	○	
舗装工	40	路盤工	○	
	41	アスファルト舗装工	○	
付属施設	42	排水性アスファルト舗装工	○	
	43	立入り防止柵工	△	
	44	路側工(取外し)	○	
道路維持修繕工	45	特殊ブロック設置工	○	
	46	路面切削工	○	
	47	切削オーバーレイ工	○	
	48	舗装版破砕工(機械)	○	
	49	舗装版破砕工(人力)	○	
	50	舗装版切断工	○	
	51	道路打換え工	○	
	52	路肩整正(人力による土はね)	○	
	共同溝工	53	共同溝工(2)	○
		54	情報ボックス工	○
トンネル工	55	トンネル工(NATM)[発破工法]	×	
	56	トンネル(NATM)[機械掘削工法]	×	
	57	トンネル工(NATM)坑口工(DⅢパターン)	×	
	58	トンネル工(NATM)非常駐車帯工	×	
	59	小断面トンネル工(NATM)	×	

備考:積算システムにおいて ○:全てSコード、△:一部がSコード、×:Sコード無し

本県において上記歩掛は**県独自歩掛**として、H26年9月末まで引き続き使用します。

# 1. 施工パッケージ型積算方式の概要と特徴

## (3) 施工パッケージ①

◆平成26年10月1日以降に起工する工事から施工パッケージ型積算を導入。  
施工パッケージに移行した歩掛は積算基準書から削除される。

No	パッケージ名称	No	パッケージ名称	No	パッケージ名称	No	パッケージ名称
1	掘削	17	法面整形	33	ふとんかご	49	基層(歩道部)
2	土砂等運搬	18	市松芝	34	函渠	50	中間層(歩道部)
3	整地	19	人工張芝	35	巨石採取	51	表層(歩道部)
4	路体(築堤)盛土	20	吹付法面取壊し	36	消波根固めブロック運搬	52	アスカーブ
5	路床盛土	21	間知ブロック張	37	消波根固めブロック仮置	53	排水性舗装・表層(車道・路肩部)
6	押土(ルーズ)	22	天端コンクリート	38	根固めブロック撤去	54	基礎ブロック(立入防止柵)
7	積込(ルーズ)	23	小型擁壁(A)	39	かごマット設置	55	金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)
8	河床等掘削	24	重力式擁壁	40	袋詰玉石	56	特殊ブロック舗装
9	土材料	25	プレキャスト擁壁設置	41	不陸整正	57	舗装版破砕
10	残土等処分	26	サンドマット	42	下層路盤(車道・路肩部)	58	舗装版切断
11	掘削(砂防)	27	安定シート・ネット	43	下層路盤(歩道部)	59	歩車道境界ブロック撤去
12	土砂等運搬(砂防)	28	粉体噴射攪拌	44	上層路盤(車道・路肩部)	60	地先境界ブロック撤去
13	押土(ルーズ)(砂防)	29	石積取壊し(人力)	45	上層路盤(歩道部)	61	踏掛版
14	積込(ルーズ)(砂防)	30	コンクリートはつり	46	基層(車道・路肩部)	62	殻運搬
15	掘削(光ケーブル配管)	31	吸出し防止材設置	47	中間層(車道・路肩部)	63	現場発生品・支給品運搬
16	安定処理	32	じゃかご	48	表層(車道・路肩部)		

# 1. 施工パッケージ型積算方式の概要と特徴

## (3) 施工パッケージ②

◆平成26年10月1日以降に起工する工事から施工パッケージ型積算を導入。  
 施工パッケージに移行した歩掛は積算基準書から削除される。

No	パッケージ名称	No	パッケージ名称	No	パッケージ名称	No	パッケージ名称
64	床掘	80	ベルトコンベア併用人力掘削(床掘)	96	吸出し防止材(全面)設置	112	プレキャスト集水枡(材料費)
65	掘削補助機械搬入搬出	81	ベルトコンベア併用人力積込	97	植樹	113	鉄筋コンクリート台付管
66	基面整正	82	基礎砕石	98	現場打基礎コンクリート	114	プレキャストL型側溝
67	転石破碎	83	裏込砕石	99	小型擁壁(B)	115	プレキャストマンホール
68	埋戻し	84	基礎栗石	100	もたれ式擁壁	116	PC管
69	タンパ締固め	85	裏込栗石	101	逆T型擁壁	117	コルゲートパイプ
70	舗装版破碎積込み(小規模土工)	86	採取小割	102	L型擁壁	118	コルゲートフリューム
71	人力積込	87	コンクリートブロック積	103	化粧型枠	119	現場打ち水路(本体)
72	人肩運搬(積込み～運搬～取卸し)土・石	88	平ブロック張	104	化粧型枠(材料費)	120	現場打ち集水枡・街渠枡(本体)
73	人肩運搬(積込み～運搬～取卸し)セメント等	89	連節ブロック張	105	ペーラインコンクリート(材料費)	121	粉体噴射攪拌(移設)
74	人肩運搬(積込み～運搬～取卸し)積ブロック類	90	緑化ブロック積	106	ヒューム管(B形管)	122	粉体噴射攪拌(軸間変更)
75	人肩運搬(運搬～取卸し)	91	緑化ブロック(材料費)	107	ボックスカルバート	123	削孔(アンカー)
76	小車運搬(積込み～運搬～取卸し)土・石	92	天端ブロック(材料費)	108	暗渠排水管	124	アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理(アンカー)
77	小車運搬(積込み～運搬～取卸し)セメント類	93	胴込・裏込コンクリート	109	フィルター材	125	グラウト注入(アンカー)
78	小車運搬(積込み～運搬～取卸し)積ブロック類	94	胴込・裏込材(砕石)	110	管(函)渠型側溝	126	ボーリングマシン移設(アンカー)
79	小車運搬(運搬～取卸し)	95	遮水シート	111	プレキャスト集水枡	127	足場(アンカー)

# 1. 施工パッケージ型積算方式の概要と特徴

## (3) 施工パッケージ③

◆平成26年10月1日以降に起工する工事から施工パッケージ型積算を導入。  
 施工パッケージに移行した歩掛は積算基準書から削除される。

No	パッケージ名称	No	パッケージ名称	No	パッケージ名称	No	パッケージ名称
128	アンカー(材料費)	144	堆積塵芥処理(機械処理)	160	埋戻し・締固め	176	歩車道境界ブロック
129	積込(コンクリート殻)	145	堆積塵芥処理(人力処理)	161	敷砂、保護砂(材料費)	177	地先境界ブロック
130	目地板	146	運搬(堆積塵芥処理)	162	配管設置(埋設部)	178	排水柵
131	止水板	147	軟弱土等運搬	163	配管設置(露出部)	179	橋名板取付
132	止杭打込	148	巨石張(練)	164	ハンドホール	180	橋梁用高欄
133	現場取卸(鋼桁)	149	巨石張(空)	165	配管支持金具(材料費)	181	橋梁用高欄一体式(材料費)
134	現場取卸(PC桁)	150	巨石積(練)	166	プルボックス(材料費)	182	飾り高欄
135	現場取卸(鋼管杭)	151	巨石(材料費)	167	可とう電線管(材料費)	183	飾り高欄(材料費)
136	コンクリート	152	プレキャスト基礎	168	伸縮継手(材料費)	184	距離標
137	モルタル練	153	プレキャスト基礎(材料費)	169	ノーマルバンド(材料費)	185	路面切削
138	型枠	154	中詰コンクリート	170	多孔保護管(材料費)	186	殻運搬(路面切削)
139	撤去しない埋設型枠(材料費)	155	野芝種子吹付	171	フィルター層敷設	187	素地調整
140	消波根固めブロック製作	156	被覆シート張	172	透水性アスファルト舗装	188	付属構造物塗替
141	消波根固めブロック据付	157	養生(散水養生)	173	支柱	189	路面清掃(路肩部・人力)
142	散在塵芥処理	158	笠コンクリートブロック	174	支柱(材料費)	190	路面清掃(歩道等・人力)
143	運搬(散在塵芥処理)	159	笠コンクリートブロック(材料費)	175	車止めポスト	191	側溝清掃(人力清掃工)

# 1. 施工パッケージ型積算方式の概要と特徴

## (3) 施工パッケージ④

◆平成26年10月1日以降に起工する工事から施工パッケージ型積算を導入。  
 施工パッケージに移行した歩掛は積算基準書から削除される。

No	パッケージ名称	No	パッケージ名称	No	パッケージ名称	No	パッケージ名称
192	ガードレール復旧	208	工場塗装				
193	ガードパイプ復旧	209	排水管				
194	舗装版破碎積込						
195	床掘						
196	埋戻し・締固め						
197	運搬(電線共同溝)						
198	軽量鋼矢板設置撤去						
199	覆工板設置撤去						
200	管路材設置						
201	受金具(材料費)						
202	支持金具(材料費)						
203	管路受台(スペーサー)(材料費)						
204	プレキャストブロック設置						
205	蓋設置						
206	蓋(材料費)						
207	前処理						

# 1. 施工パッケージ型積算方式の概要と特徴

## (4) 用語の定義・解説

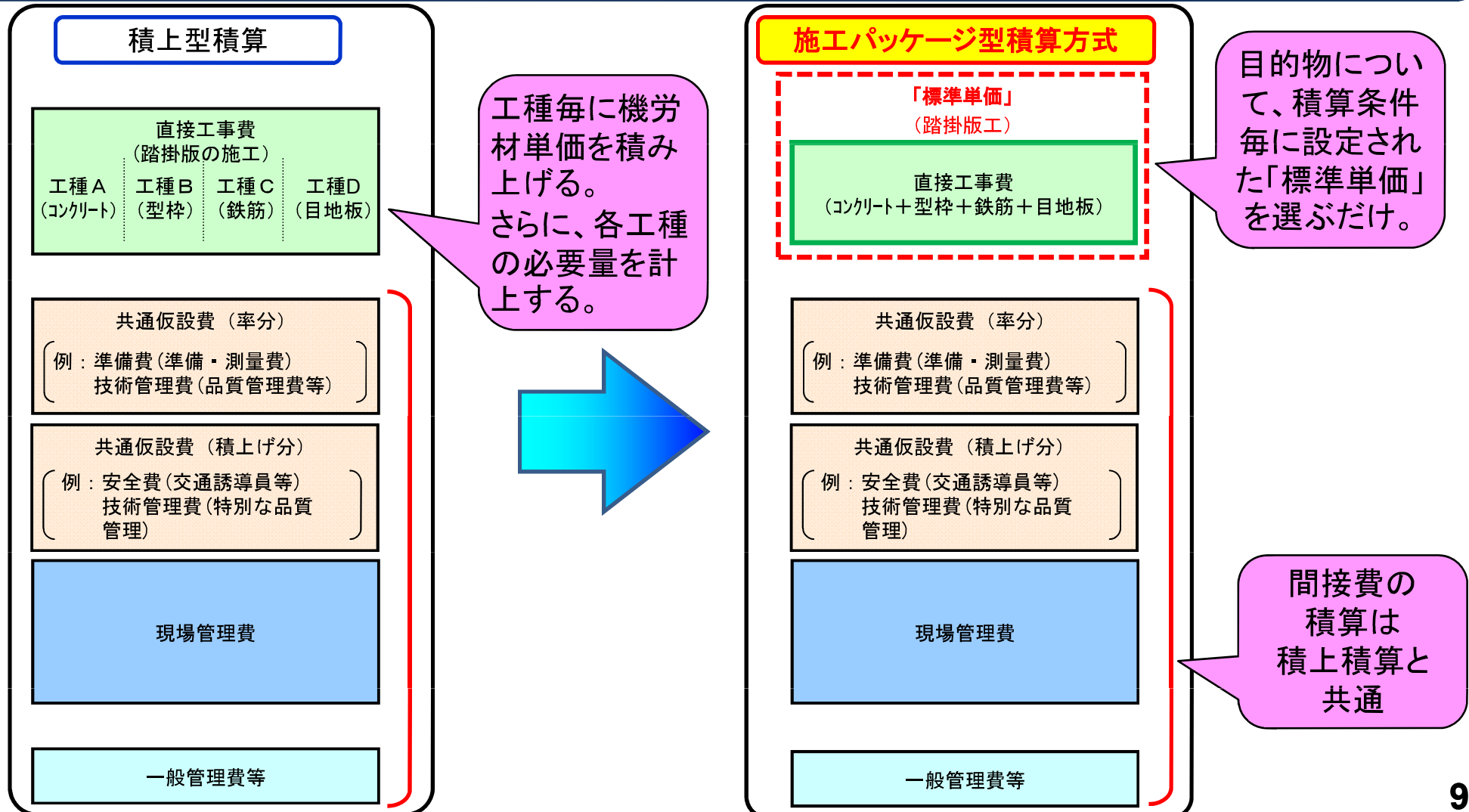
名称	定義・解説
標準単価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京17区における基準年月の標準的な単価</li> <li>・平成26年度版の基準年月は平成25年4月</li> <li>・国総研HPに公表(基準書には非掲載)</li> </ul>
積算単価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事地区、発注時期に応じて標準単価を補正して算出する単価</li> <li>・補正により算出可能であるため非公表</li> </ul>
補正式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算単価算出の際に使用する補正式で、計算例も国総研HPに公表(標準単価、機労材構成比、機労材単価を用いて算出)</li> </ul>
代表機労材規格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準単価を設定した際に想定した代表的な機械・労務・材料規格</li> <li>・国総研HPに公表(基準書にもパッケージ毎に記載)</li> <li>・機械3機種、労務4職種、材料4規格、市場単価1規格を公表</li> </ul>
機労材構成比	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準単価毎に設定された代表機労材規格毎の金額構成比率</li> <li>・国総研HPに公表(基準書には非掲載)</li> </ul>
工事費内訳書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回入札に際し、第1回入札書に記載される入札金額に対応した工事費の内訳書であり、入札参加者から提出される</li> </ul>
応札者単価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事費内訳書に記載された単価</li> </ul>
請負代金内訳書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量総括表に掲げる工種、種別及び細別に対応する金額を表示したもので、契約締結後14日以内に受注者から提出される</li> </ul>



# 1. 施工パッケージ型積算方式の概要と特徴

## (5) 積算体系の相違

『施工パッケージ型積算方式』とは、**直接工事費**について、**施工単位ごと**に機械経費、労務費、材料費を含んだ**標準単価**を設定し、積算する方式。





( 6 )

H26.10 長崎 積算単価

H25.4東京  
標準単価

H26.10長崎機械単価

H25.4東京機械単価

H26.10長崎労務単価

H25.4東京労務単価

H26.10長崎材料単価

H25.4東京材料単価

平成26年度版の基準年月は平成25年4月

H25.4東京地区の標準単価

( 7 )

長崎(H26.10)

東京(H25.4) (円)

長崎(H26.10) (円)

長崎(H26.10)

当ページで使用している構成比・金額は参考値です

( 8 )

「標準単価」として直接工事費が公表されるため、元請下請間の契約の透明性の向上が見込まれる。

## 2 . 入札・契約図書類における留意事項

(1)

### 3 . 設計変更について

#### ( 1 ) 施工パッケージ型積算方式の変更対応方法

## 3 . 設計変更について

( 2 )

## 3 . 設計変更について

### ( 3 )

【事例 2】  
関係機関との協議により施工工程が厳しくなり、工期短縮を図るため小型擁壁のコンクリート規格に早強の使用を指示した場合の新単価の算出は、標準単価の材料規格を補正して算出する。



## 3 . 設計変更について

( 4 )

### 3 . 設計変更について

( 5 )

## 4 . その他

### 九州地方整備局及び国総研HP公表内容（平成26年4月1日現在）

- ・ 施工パッケージ型積算基準
- ・ 土木工事数量算出要領（案）
- ・ 施工パッケージ型積算方式標準単価表（H26.4適用）
- ・ 代表材料規格の基準単価作成方法について（H26.4適用）
- ・ 施工パッケージ型積算方式について（H25版説明資料）
- ・ 施工パッケージ型積算方式Q & A（その1）
- ・ 施工パッケージ型積算方式Q & A（その2）
- ・ 平成25年度（10月改正）土木工事数量算出要領（案）
- ・ 平成25年度版 工事工種体系ツリー

九州地方整備局HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/>  
掲載ページ：ホーム 専門的な情報（建設技術情報等） 施工パッケージ型積算方式  
国総研HP [http://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/theme\\_sekop.htm](http://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/theme_sekop.htm)  
（九州地方整備局のリンク集参照）